

小平市 公共施設マネジメント基本方針市民説明会

1 開催日時・参加者数等

日程	時間	場所	参加人数
平成28年2月 9日(火)	19:00-20:00	美園地域センター 第1・2集会室	4
11日(木)	14:00-15:00	中央公民館 講座室2	8
13日(土)	10:00-11:00	鈴木地域センター 第1・2集会室	3
17日(水)	14:00-15:00	上宿公民館 ホール	3
3月 6日(日)	14:00-15:00	小川西町公民館 ホール	5
8日(火)	18:30-19:30	東部市民センター 集会室	8
9日(水)	14:00-15:00	大沼地域センター 第1・2集会室	0
13日(日)	14:00-15:00	上水南公民館 ホール	2
19日(土)	10:00-11:00	元気村おがわ東 第1会議室	0
23日(水)	19:00-20:00	市民総合体育館 第2・3会議室	7
25日(金)	10:00-11:00	天神地域センター 第1・2集会室	5
合 計			45

※2月11日、3月6日、3月8日には説明会終了後、「市民と市長のタウンミーティング」を実施した。

2 いただいたご意見等

- ・将来的に可變的に対応できる施設づくりに期待する。
- ・玉川上水や緑が多いなど、小平市にも特徴が多い。グリーンロードと公共施設、小平市の特徴と公共施設が交わるような施設の整備をしてほしい。
- ・人間の健康診断のように早期発見、早期手当をすべきである。
- ・公共施設の使用料は無料と考えられてきた。公共性がある施設は税で運営する時代から、公共経営の観点、ビジネス的な視点が必要な時代である。受益者負担の考えを入れるべきである。
- ・受益者負担は免除のままにしてほしい。
- ・市民の意見を他の市民に周知させる方法を考えてはどうか。
- ・公共施設マネジメントに関心を持たない市民に関心を持ってもらうためにはどうすべきか。
- ・子どもの教育の場である学校が大切であり、お金をかけざるを得ない。一方で空き家があるので、地域のコミュニティ関連の施設は、空き家を活用してはどうか。
- ・午前、昼間、夕方と利用者の年齢層が変わるので、フレキシブルな使い方を考えてはどうか。
- ・公民館は高齢者の活動を促進し、健康の維持に役立ち、ひいては医療費が軽減されているといった目に見えない効果もある。こういった効果も配慮するべきである。
- ・床面積が減少しても機能は減らさない工夫が必要である。複合化は具体的な方策にもあるが、市役所が縦割り意識では実現はできない。
- ・財政の見通しもよくない中、すべてをまんべんなく実施する時代ではない。不要な施設は思い切って廃止し、小平市にとって本当に必要な施設を選択して経費をかけるべきである。
- ・今後大きな更新費用がかかる中、更新費用を見越した引当金などはどうなっているのか。